

2020 筑前地区公式大会 実施要項

筑前地区公式大会は次のものとする。

- (1) JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会筑前地区大会
- (2) 九州ジュニア (U-11) サッカー大会筑前地区大会
- (3) 九州ジュニア (U-12) サッカー大会筑前地区大会

1 参加資格

- (1) 「参加チーム」は、大会実施年度に日本サッカー協会第4種及び女子（小学生）加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること。また、福岡県サッカー協会にも加盟登録をしておくこと。
- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。（※トレセンや急遽編成したチームは不可）
- (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
- (4) 地区予選から福岡県大会の終了まで、同一選手が異なる「加盟チーム」への移籍後再び参加することはできない。
- (5) 「参加選手」は、(財)日本サッカー協会の発行した「加盟チーム」の選手証（写真貼付されたもの）を持参すること。
- (6) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者（小学生を除く）であること。また、チーム内に1名以上本協会公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。
- (7) 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (8) 「参加チーム」は必ず傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入していること。
- (9) 同一クラブからの複数エントリーについては以下のとおりとする。
 - (※（数字）は九州ジュニア（U-11）サッカー筑前地区大会の場合）
 - ア) 協会登録選手に出場（プレー）の機会を増やすことを目的として、一定の条件をクリアすれば可能とする。
 - イ) 人数の多いクラブが対象となるが、キックオフ時に6人の競技者がそろっていれば成立とするが、選手に無理なプレーを要求することは避けなければならない。
 - ウ) 複数チーム参加の条件は次のとおりとする。
 - ①筑前地区公式大会と福岡県中央大会の運営に支障が無いこと。
 - ②大会参加申し込み時に同一クラブ内で6（5）年生の合計が福岡県中央大会登録人数と同数以上いること。
 - ③チームとして要件を満たしていること。（それぞれのチームに「代表者」「責任ある指導者（内1名はD級以上の保持者）」「(必要な場合は) 帯同審判員」がいる。）
 - ④それぞれのチームに、2名以上の交代要員がいること。（※登録時に最低10名いないと不可）
 - ⑤それぞれのチームの登録人数は、6（5）年生で半数を超えてなければならない。
 - ⑥5（4）年生以下単独のエントリーは原則認められない。ただし、6（5）年がおらず、5（4）年以下でチーム運営を行っている場合はこの限りではない。
 - エ) 筑前地区公式大会と福岡県中央大会の間は、同一クラブ内のチームであっても選手・指導者の移籍（異動）は認めない。（※全日本、九州大会本大会に参加する場合は、エントリー数に満たない人数の補充を行ってもよい。）
- (10) ~~筑前地区リーグ戦にエントリーしていないと次の「全日本少年サッカー大会筑前地区大会」には出場できない。~~※2020年度はリーグ戦未実施の為、適用除外とする。

2 競技のフィールド

- (1) フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）は50mを原則とする。
- (2) ペナルティエリアは、ゴールポストの内側から12mのところ、ゴールラインと直角に2本のラインを描く。このラインは、フィールド内に12mまで延ばし、その先端をゴールラインと平行なラインで結ぶ。
- (3) ゴールエリアは、ペナルティエリアと同様の描き方で、その長さを4mとする。
- (4) ペナルティマークは、それぞれのペナルティエリア内に、両ゴールポストの中央から8mで両ゴールポストから等距離のところに描く。
- (5) ペナルティークの半径は、7mとする。
- (6) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは、2.15mとする。

3 審判員

- (1) 主審1名、副審2名の3人制とする。
- (2) 必要に応じて、第4の審判を置く場合がある。
- (3) 予選ラウンドについては、参加チームの相互審判（一部派遣審判）とする。
- (4) 予選ラウンド以降の派遣会場については、大会事務局より決まり次第各支部競技部を通じて連絡する。
- (5) 派遣に都合のつかないチームについては、資格を保持した代理を選出（当該チームで選出し代理として参加）することができる。また、当該チーム以外にも審判部より個別に依頼する場合もありうる。
- (6) 審判の服装については、大会の規律を重んじるため審判服の上下、ストッキング及びワッペンを着用を義務付ける事とする。なお、(財)日本サッカー協会の発行した審判証（電子証可）を持参すること。

4 登録選手・競技者の数

- (1) 1チーム8人の競技者によって行われる。競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- (2) 登録選手数は、各大会の福岡県大会の登録人数とする。選手交代は登録された選手が自由に交代できるものとする。なおベンチには事前に登録された合計5名 の内、2名以上3名以下の引率指導者（子供は除く）と登録された選手のみ入ることができる。
- (3) 競技者が交代要員と交代する場合、次の通り行う。
 - ・フィールド競技者の交代は、主審の承認を得ることなく、退く競技者及び入る競技者は、インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、交代ゾーンにおいて行われる。
 - ・ゴールキーパーの交代は、アウトオブプレーになった時に、主審に通知し、主審の許可を得て交代を行う。交代は、ハーフウエーラインのところから行う。
 - ・ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

5 競技者の用具

- (1) 競技者の用具については、(財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」および別途制定する「選手の用具に関する運用緩和に関する通達」に準ずるものとする。
- (2) 選手番号については、大会に登録されたものを使用する。
(※トーナメント後のPK戦においてFPがGKとなる場合も通常的方式で行う。)

6 試合時間

- (1) 試合時間は、前、後半とも原則として20分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は10分とする。ただし、1日3試合以上の場合、前、後半とも15分間とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は5分とする。
(△パート→40分(20-10-20)、□パート→30分(15-5-15)、
決勝トーナメント以降→30分または40分。)
- (2) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合は、地区リーグにおいては引き分けとする。
予選ラウンド以降においては、延長戦は行わずペナルティマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。なお、ペナルティマークからのキックに入るまでのインターバルは1分とする。
- (3) 暑熱下等必要に応じて、前・後半中程に飲水タイムを採用する。
飲水タイム採用に伴い、前・後半共に1分間のアディショナルタイムをとる。
その他状況に応じ、クォーリングブレイクの採用等、協議の上決定する。

7 プレーの開始及び再開

キックオフから直接相手のゴールに入った場合、相手にゴールキックが与えられる。

8 監督会議

- (1) 監督会議には、チームの代表者（監督、指導者）1名が参加する事。今年度より保護者の帯同出席を不要とするが、会場諸注意等確実に伝達する事。
繰返し伝達が徹底できないチームへのペナルティーは規律・フェアプレー委員会にて決定する。
- (2) 監督会議時間に遅れたり、参加されないチームについては大会を棄権したとみなし、大会本部にて競技方法の見直しを行う。また、チーム及び選手が自チームの開始時間に遅れ、試合が成立しない場合も同様の扱いとする。
- (3) 監督会議の開始時間については、原則該当会場の1試合目の開始時間の40分前（例えば10時開始の時は9時20分）とする。ただし、会場準備等の諸状況で変更する場合もある。

9 警告・退場

- (1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (2) 交代要員がない場合は、対戦相手より少ない人数のまま競技を続けなければならない。
競技者が5名以下になった場合、その試合は成立しないものとし、不戦敗(5対0)として処置する。
地区リーグで不戦敗となったチームの記録は、その試合以前に行われた試合の結果も不戦敗扱いとして修正する。(※一度終了した試合でも遡り訂正される)
- (3) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会にて決定する。(※悪質な場合は更に罰則を与える。)
- (4) 本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。警告の累積は、途中で消滅することなく本大会終了まで継続される。
- (5) 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、筑前地区長が務める。委員については、委員長が決定する。

10 その他

2020年度の公式戦は、下記の「新型コロナウイルス感染防止対策」を実施要項に追加する。

- (1) 選手、指導者、応援保護者等（以下参加者）の氏名、住所、連絡先、当日の検温等が記載された名簿を提出する。
名簿は参加者の健康状態を確認することを目的とし、提出いただいた個人情報 は 厳重に管理し、新型コロナウイルス感染防止対策以外の目的には使用しません。
- (2) 原則として参加者は全員マスクを着用する。（選手のプレー時を除く）
- (3) 試合前後の挨拶は、対面しての挨拶は行わず、セレモニー形式でベンチ側への挨拶のみとする。
審判員、相手ベンチへの挨拶も省略し、握手やハイタッチは行わない。
- (4) 前後半開始前の円陣等を行わない。
- (5) 得点後の喜び、交代時の握手等プレー以外の不要な接触は極力避ける。
- (6) ベンチからの指示・指導は極力抑える。
- (7) 観客席からの大声での声援は送らない。
また、隣人との会話も控える。
- (8) 試合会場によっては、自治体による会場入場制限が設けられている場合があるので、適用会場の場合は、その指示に従う事。
- (9) 一部の試合会場では、横断幕等の掲示が出来ないので留意のする事。

【別途制定事項】

「選手の用具に関する運用緩和に関する通達」を適用した運用は下記の通りとする。

- (1) 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- (2) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本大会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- (3) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
- (4) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- (5) アンダーシャツ、アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。
ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。